

# 公益財団法人小山台教育財団 2022 年度事業報告

## (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

2022 年度は、国内のワクチン接種率の増加とともに新型コロナウイルス感染拡大が徐々に終息した。これに伴い、当財団の各事業において、新型コロナウイルス感染拡大以前の状態への復帰を目指して、オンラインやウェブ配信を駆使しながら事業の実施に努めた。こうした努力の結果もあり、2022 年秋の第 8 波ピークアウト後の冬には、国際交流事業におけるドイツおよび台湾への渡航を 4 年ぶりに実施することができた。具体的な 2022 年度における事業別実施状況は以下の通り。

### I. 国際交流事業（公益目的事業）

国際交流を通じて青少年の国際相互理解教育および異文化体験を行うとともに、真に日本を理解する能力を育てるための海外体験派遣、交換交流派遣及び海外チャレンジ支援を実施している。2022 年度前半は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえてオンライン交流を適宜組み入れた代替事業を実施し、年度後半は感染状況の終息を受けて、海外渡航を実施した。

#### 1. 海外体験派遣

英国ボーンマス市に派遣し、ホームステイをしながらキングス・カレッジで世界各国の青少年とともに語学研修を受講するプログラム。語学研修には世界各国からの生徒が参加するため、世界的に新型コロナウイルス感染が拡大している状況に鑑み、参加者が感染に晒されるリスクが高い。従って、当年度は、現地への渡航に代わり、海外とのオンライン交流や国内外事情に関する研修等の国内での代替事業を以下の通り実施した。

- (1) 参加者：品川区立都立高等学校（小山台、大崎、八潮）の生徒およびその卒業生である大学生計 19 名（含リーダー 2 名）
- (2) 活動期間：2022 年 5 月～8 月（適宜実施）

#### 2. ドイツ交換交流派遣

ドイツ・ベルリン市の私立カニジウス・コレク・ギムナジウム校との連携による交換交流プログラム。当年度はドイツ側パートナーを受け入れる予定であったが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大が続いている状況を踏まえ、夏季までの活動においては、ドイツ側の来日を取りやめ、日本国内でドイツ側パートナーとのオンライン交流を実施した。年度後半のコロナ禍終息を受けて、冬以降に日本側の渡独及びドイツ側来日受入を相次いで実施した。

- (1) 参加者：品川区立都立高等学校（小山台、大崎、八潮）の生徒およびその卒業生である大学生計 10 名（含リーダー 2 名）
- (2) 活動期間
  - (i) 2022 年 5 月～8 月：日本国内でのドイツ側とのオンライン交流

(ii) 2022年12月～2023年1月：日本側のドイツ渡航、ドイツ側の来日による受入

### 3. 台湾交換交流派遣

日本側学生を台湾における連携先である環球科技大学に派遣し、台湾側学生と一緒に大学における講義および体験学習を受講し、現地の歴史・文化に触れるとともに国際交流を推進するプログラム。当年度は、日本国内及び台湾における新型コロナ・ウイルス感染拡大の終息を踏まえ、台湾への派遣を実施した。

(1) 参加者：品川区内都立高等学校を卒業した大学生9名（含リーダー1名）

(2) 活動期間：2022年11月～2023年3月（適宜実施）

### 4. 海外チャレンジ支援

海外における留学・研修・専門的研究・インターンシップ・ボランティア・芸術・スポーツ等の活動を通じて、国際的視野に立脚した教育機会ないし目的達成のための研鑽に必要な費用の一部を助成するプログラム。助成対象者は品川区内都立高等学校の卒業生である大学生。

(1) 長期留学助成受給者：該当者なし

(2) 短期研修助成受給者：2名

留学先：University College Cork（アイルランド）、McGill University（カナダ）、各1名

(3) 多様性キャリア開発助成受給者：該当者なし

## II. 奨学育英事業

### 1. 品川区内都立高等学校向け奨学育英事業（公益目的事業）

品川区内都立高等学校に在学する就学意欲のある有為な生徒で、経済的理由で学業が困難なものに対して奨学金の給付を実施した。

(1) 一般奨学金（41名）

① 対象：高校2年生以上の生徒

② 給付額：6月から翌年3月まで月額1万5千円（1人、年間15万円）

(2) 臨時奨学金（15名）

① 対象：高校1年生もしくは家庭状況の急変等で緊急に援助が必要になった生徒

② 給付額：10月から翌年2月まで月額1万5千円（1人、年間7万5千円）

### 2. 都立千歳丘高校向け奨学育英事業（相互扶助等事業）

都立千歳丘高校関連財団丘和会から当財団が受領した寄付金を原資として、千歳丘高校生徒に対する育英奨学金として特別奨学金を支給するもの。

(1) 特別奨学金（1名）

① 対象：千歳丘高校生徒。

② 給付額：1人あたり年間10万円

### III. 社会教育事業（公益目的事業）

社会公共の教育及び文化の発展に寄与するため、地域住民等に対する生涯学習の推進及び文化の向上に関する事業。新型コロナ・ウイルス感染拡大に伴い、前年度に引き続き一部事業を部分的に中止あるいは縮小したが、多くの事業は十分な感染対策のうえ実施した。

#### 1. 公開文化講座

地域住民等に対する公開文化講座を実施した。

- (1) 募集対象：主として品川区、大田区、目黒区の住民
- (2) 開催実績：8回
- (3) 講座内容：文化、健康、音楽等をテーマとする講座およびコンサート

#### 2. ランチタイム・コンサート

地域住民等一般聴衆を対象として、音楽を通じた憩いの場を提供することを目的として開催した。

- (1) 参加対象：品川区、大田区、目黒区の住民・職域を中心とする一般向け。
- (2) 開催実績：12回。
- (3) コンサート内容：声楽、ハープ、チェロ、ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ、オーボエ。

#### 3. 寺子屋小山台

企業の第一線で活躍するビジネスマンを対象として、日本社会の中核を担う人材を育成するためのリーダー養成講座を実施した。

- (1) 募集対象：品川区内都立高等学校の卒業生を中心とする社会人
- (2) 開催実績：9回
- (3) 講座内容：政治・経済・国際関係等をテーマとする講義および討論

#### 4. 中学校のクラブ活動の支援

小山台高等学校が中学校の課外クラブを対象として行う、技術等の向上のための講習会の開催を支援する活動であるが、当年度は、新型コロナウイルス感染の鎮静化に伴い、一部を除き各活動への支援を実施した。

- (1) 受講対象：品川区、大田区、目黒区の中学校課外クラブ部員
- (2) 開催実績：6回
- (3) 活動内容：小山台高等学校と協議して実施

#### 5. 暮らしに役立つ講座

社会保険労務士、行政書士、税理士を講師として、日々の生活に役立つテーマを取り上げて解説する講座を実施した。

- (1) 募集対象：品川区内地立高等学校生徒の保護者ならびに近隣住民
- (2) 開催実績：3回
- (3) 講座内容：暮らしに役立つ所得税の話、遺言書・相続・社会保障の話、暮らしに役立つ相続税の話

#### IV. 学校教育事業（相互扶助等事業）

都立小山台高等学校の教育環境の整備を図ること並びに小山台高等学校生徒の健全な心身の育成を増進するために、小山台高等学校に対し下記支援活動を実施した。

1. 進路指導・学力向上助成
2. 学校行事・班活動補助（含コロナ対策支援）
3. 学校広報助成
4. 定時制助成

#### V. 海外派遣者ネットワーク事業（相互扶助等事業）

当財団が実施する国際交流事業に参加した海外派遣経験者を主体とする会員組織を通じて、これら派遣経験者間の相互交流・海外からの交換経験者との交流・その他海外とのオンライン交流等の活動を実施した。

##### 1. 国際的相互交流活動

来日外国人、在日外国人との交流活動及び海外とのオンライン交流・・・開催実績：該当なし

##### 2. 会員並びに学生との相互交流活動

会員相互並びに会員と当財団の国際交流における海外体験・交換交流派遣生ないし参加経験をもつ学生との交流活動・・・開催実績：2回

#### VI. 会館運営事業（相互扶助等事業）

小山台会館の会議室・ホールを、財団内の打合せに加えて教育・福祉増進・文化の向上等に資する会議・会合・懇親の会場として運営した。具体的には、前年度同様、コロナ感染対策として会館内各室の換気励行やディスタンス確保などに努めて運用した。また、会館運営事業の在り方見直し及び会館利用率向上に向けた検討については、来年度に具体策を取り纏めることとした。

年間利用実績：2,548件

#### VII. 財務

##### 1. 有価証券

2022年度償還期限到来債券1億円について、資産運用規程に定める基準に従い1億円の入替売

買を実施した。2022年度末の保有有価証券（額面）は64億円。

## 2. 寄付金

当財団の事業の更なる発展を期して、次世代を担う高校生・大学生の育成を主眼とする特定寄附金及び用途の指定のない一般寄附金の募集を実施、多数の方々からの寄附金が寄せられ、当財団事業を支える財務基盤の強化に貢献した。

以上

2022 年度事業報告の附属明細表  
(2022 年 4 月～2023 年 3 月)

I. 国際交流事業

1. 海外体験派遣：渡航せず、代替事業実施

	男子	女子	合 計
高校生	5	12	17
大学生	0	2	2
合 計	5	14	19

2. ドイツ交換交流受入：夏季の来日取りやめ、代替事業実施

	男子	女子	合 計
高校生	1	8	9
大学生	1	1	2
合 計	2	9	11

3. ドイツ交換交流：冬季の渡航および受入を実施

		男子	女子	合 計
渡航	高校生	1	5	6
	大学生	2	1	3
	合 計	3	6	9
受入	高校生	1	8	9
	大学生	2	5	7
	合 計	3	13	16

4. 台湾交換交流派遣：渡航実施

	男子	女子	合 計
大学生	4	5	9
合 計	4	5	9

5. 海外チャレンジ支援 2名

区分	男子	女子	合 計
長期留学	0	0	0
短期研修	1	1	2
多様性キャリア開発	0	0	0
合 計	1	1	2

## II. 奨学育英事業

### 1. 一般奨学金 41名

高校	男子	女子	合計
小山台	5	2	7
大崎	18	15	33
八潮	1	0	1
合計	24	17	41

### 2. 臨時奨学金 15名

高校	男子	女子	合計
小山台	4	2	6
大崎	2	3	5
八潮	2	2	4
合計	8	7	15

### 3. 特別奨学金 1名

高校	男子	女子	合計
千歳丘	1	0	1

## III. 社会教育事業

### 1. 公開文化講座（場所：小山台会館）

講師	題目	来場者数 会場	来場者数 WEB	来場者数 合計
二木 芳人	新型コロナウイルス感染症パンデミックは何時どのように終息するか	38	14	52
松村 喜秀	あなたの財布は私の財布	38	19	57
伊豆見 元	5年振り政権交代の韓国と朝鮮半島の今後	31	13	44
飯村 久美	人生100年時代、これからのお金と資産形成	35	19	54
大嶋 絵里	ヨガで健康になる5つのヒント	49	16	65

安西 英明	秋の野鳥、街に息づく命のさまざま	44	13	57
青山 弘之	ロシアのウクライナ侵攻がシリアにもたらした影響	45	13	58
加納 民夫	レクチャーコンサート	76	配信 無	76
合計		356	107	463

## 2. ランチタイムコンサート（場所：小山台会館）

月	出演者名（コーディネーター）	演奏	来場者数 （概算）
4月	都築 小百合（沢田 千秋）	ピアノ	36
5月	竹内 麻美（沢田 千秋）	ピアノ	50
6月	上島 由梨乃 他5名（沢田 千秋）	フルート他6重奏	55
7月	糸数 知（沢田 千秋）	ソプラノ ピアノ	中止
8月	竹内 麻美（沢田 千秋）	ピアノ	49
9月	石崎 翔子 和田 萌子（沢田 千秋）	チェロ	58
10月	原 香奈恵（沢田 千秋）	ヴィオラ	56
11月	岡田 頼祈 關 奈々子（沢田 千秋）	バリトン	46
12月	阪本 七海（沢田 千秋）	ピアノ	41
特別講演	小山台高校 ブラスバンド班 （沢田 千秋）		112
1月	清水 怜香 竹内 麻美（沢田 千秋）	ヴァイオリン ピアノ	40
2月	石丸 瞳（沢田 千秋）	ハープ	63
3月	吉澤 萌依子 山田 桃菜（沢田 千秋）	ヴァイオリン ピアノ	52
合計			618



3. 寺子屋小山台（場所：小山台会館）

	講師	内容	来場者数 会場	来場者数 WEB	来場者数 合計
プレ	福川 伸次	受講生にのぞむこと	11	0	11
	藤井 浩行	「自分が源泉」というあり方			
1	矢ヶ崎 隆二郎	グローバル人材の育成	9	0	9
2	北野 尚宏	国際貢献	9	0	9
3	川上 高志	日本の政治について	11	0	11
4	大澤 佳雄	リーダーシップ論	9	0	9
5	朝岡 聡	リーダーとしての伝え方	9	0	9
6	朱 建榮	中国から見た日本	9	0	9
7	福川 伸次	これからの日本	10	0	10
8	受講生発表		11	0	11
合計			88	0	88

4. 中学校クラブ活動支援

活動内容	日付	参加者数
剣道技術講習会	8月25日	62
硬式テニス技術講習会	8月27日	8
バスケットボール技術講習会	8月6日	100
弦楽班技術講習会	12月28日	4
管打楽器講習会	2月5日	185
理科実験教室	11月12日	20
茶道お点前教室	・新型コロナ感染拡大に伴い中止	
天体観測技術講習会		
合計	6回	379

5. 暮らしに役立つ講座（場所：小山台会館）

	講座名	講師	来場者数 会場	来場者数 会場	来場者数 WEB

1	税金の話：所得税編	税理士 原田 文香	14	20	34
2	年金の話	社労士・行政書士 喜多村郁子	10	15	25
3	税金の話：相続税編	税理士 原田 文香	23	11	34
合計			47	46	93

#### IV. 学校教育事業

分類	事業名
進路指導・学力向上助成	キャリア教育推進
	小論文特別講習
	2 学年勉強合宿
	大学入試過去問題集
	進路指導用資料
	理科講義実験
	講習教材費補助
学校行事・班活動補助	合唱コンクール
	運動会物品購入
	運動会団席設置
	運動会医師等謝礼
	マラソン大会
	施設賠償責任保険
	ブラスバンド班演奏会
	保健室生徒対応補助
	新型コロナ対策費
学校広報助成	学校案内パンフレット作成費
	学校案内ポスター作成費
	学校広報活動費
定時制	実習教材援助
	人権教育推進

	授業講師・班活コーチ費用助成
	学校行事助成費
	生徒褒賞費
	班活動助成費
	学習・生活相談支援

## V. 海外派遣ネットワーク（相互扶助等事業）

### 1. 国際的相互交流活動

該当なし。

### 2. 会員向け相互交流活動

活動内容	日付	参加者数
BRANCH フォーラム（異業種交流会）	6月25日	25
社会人 BRANCH 総会	11月5日	6
合計		31

### 3. 会員及び当財団役職員等への情報提供

該当なし。

## VI. 会館運営事業

### 会館利用状況

施設名	収容人数 *	年間利用件数
203 会議室	20	221
204 会議室	20	345
205 会議室	55	376
207 音楽室	45	369
301 会議室	8	229
302 会議室	8	268
303 中ホール	50	98
304 大ホール	130	514
B01 談話室	40	108
10A 多目的ホール	—	20
合計	—	2,548

\* 中ホールは大ホールと一体貸出していたため、財団と学校利用のみ集計。

以上